

拓の会ニュース VOL.64

2026 年 7 月 6 日

拓の会例会予定7月

1G	■日 時:7月23日(木) ■会 場:同友会事務所	■テーマ: 未定 ■話題提供者: (株)クナウパブリッシング 代表取締役社長 高原 淳 氏
2G	■日 時:7月24日(金) ■会 場:未定	■テーマ:未定 ■話題提供者:グループ内から
3G	■日 時: ■会 場:	■テーマ: ■話題提供者:
4G	■日 時:7月15日 (水) 19:00～ ■会 場:同友会事務所	■テーマ:決算書を読もう ■話題提供者: (株)安藤建設 代表取締役 岡村 正治氏
5G	■日 時:7月24日(金)19:00～ (仮) ■会 場:未定	■テーマ: ■話題提供者:
6G	■日 時:7月3日(金)19:00～ ■会 場:とかちプラザ402	■テーマ:攻める経営は健康から始まる ■話題提供者:あいた内科循環器クリニック 院長 會田 誠 氏
7G	■日 時:7月13日(月) 13:30集合 15時配信開始 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:みんな知っているあのお土産も！ やりたいを叶えてくれる、まだ知られざる菓子メーカーの秘密に迫る！ ■話題提供者:(有)南製菓 代表取締役社長 南 将太 氏
8G	■日 時:7月9日(木) 18:30～ ■会 場:同友会事務所	■テーマ:自社のAI導入事例について ■話題提供者:北海道ベース(株) 山田 泰生氏
9G	■日 時:7月13日(月)19:00～21:00 ■会 場:市民文化ホール第2会議室	■テーマ:企業継続術～事業承継、人材確保、多角経営～ ■話題提供者:全員

拓の会例会報告(6月)

<第1グループ>

◆日時 2026年6月16日(火)

◆テーマ 未来へつながる『農』へ ◆報告者 (有)太田農場 太田 広光 ◆記録者 南 将太

今回の6月例会では、太田農場の太田広光代表を話題提供者に迎え、「未来へつながる『農』へ」をテーマに、経営指針を策定してからの3年間の取り組みについてお話しいただきました。農場HACCPの導入による業務の効率化や、誰もが働きやすい仕組みづくり、さらには牛の死亡率を下げるための現場改善の取り組みなどが紹介されました。特に印象に残ったのは、「対策の鍵はやっぱり人」という言葉です。設備や技術の導入も重要ですが、毎日牛と向き合い、小さな変化に気づける人材を育て、長く働き続けられる環境を整えることこそが経営の土台であると感じました。また、「太田まつり」の開催をはじめ、地域とのつながりを大切にしながら、生産性向上やエネルギーづくりにも積極的に取り組まれている姿勢が印象的でした。今回の報告を通じて経営指針を単なる計画で終わらせるのではなく、一つひとつの実践を積み重ねていくことの大切さを学ぶ例会となりました。



<第2グループ>

◆日時 2026年6月26日(金)

◆テーマビジネス講習に向けての企画書 ◆報告者 全員 ◆記録者 小森 光

今月は来たるべきビジネス講習会に向けての計画を立てるため、メンバー合同で意見を出し合って企画書を作るための話し合いを行いました。講師の方をお呼びするにあたって主にどういった内容を学んでいくのか、いつ頃の日程にするのかなどを中心に相談しあいました。あの事柄も聞いておきたい、この内容について学びたいなど、講習会では普段の仕事面で気になっていることを学んでいく方針で話し合われました。今後は企画書の内容をベースに実際の予定を詰めていくことになるかと思いますが、このディスカッションによって講習会当日がより実りあるものになればと思います。



<第3グループ>

◆日時 2026年6月24日(水) ◆テーマ ディープな帯広の街 ◆記録者 津田



今回の例会は街から少し外れているチロリン村にて開催いたしました。お客様はほぼ常連さんやリピーターで構成されているらしく、地元民でもあまり訪れる機会は多くはないのではないのでしょうか。訪問したお店も女将さんお一人で営業されており、基本的にはご予約で営業されているとのことでした。中に入ると新しくリフォームされた綺麗なお店で、とても落ち着き、常連さんが足しげ通いたくなる気持ちもわかる気がしました。私自身、このような機会がないと行くことがなかったと思うので、良い経験になりました。

<第4グループ>

◆日時 6月17日水曜日

◆テーマ 経営者の為の会計基礎知識 ◆話題提供者 北海道ベース(株)山田泰生氏

◆記録者 阿部

今まで『会計』や『簿記』とは無縁の生活をしてきた私は、2つの言葉の意味さえ分らずでした。

山田氏は『「会計」とは金銭収支や財産の売買などの経済的取引事象を記録、計算、報告すること。「簿記」とはそれを記録する為の方法であり、「会計」の中に「簿記」があるイメージであると、図を用いてお話してくださいました。

また、経営で1番大事な数字は『利益』であるが、『損益計算書』上で利益が出ていたとしても、倒産の可能性のある場合があることや、

『貸借対照表』を読み取れるようになることで、その会社の財務の安全性、安定性がわかるようになることも知りました。

また引き続き参加して勉強していきたいです。



<第5グループ>

◆日時 6月18日木曜日

◆テーマ ◆報告者 (株)ブルーコーナー 嶋田 亮 ◆記録者 岡村

自己診断アプリ Dマトを用いた性格診断の続きでした。判断が慎重か迅速か、思考が論理的か情緒的かにより 分析派、合理派、直感派、協調派に分類できます。自分がどれに分類され相手がどう考えているのかを知ることは意思伝達をスムーズにするということです。前回おさらいから始まり次回までにDマト診断を社員に還元、実践しようとなりました。そして成果の共有です。

4つの分類、傾向、特徴がそれぞれの強みになること。



思考癖、安心要因、苦手要因を知り理解することで報連相をスムーズにできればと思います。

<第6グループ>

- ◆日時 2026年6月18日
- ◆テーマ 脳と体のパフォーマンスを高める！明日からできる、心地いい毎日の整え方
- ◆報告者 株式会社珈琲専科ヨシダ 代表取締役曾根史子様
- ◆記録者 藤原 聖

(1)曾根様から日常習慣情報をメンバーにシェアしていただきました。

脳活をメインとするが脳と腸の活動には相関がある。消化の順番を考えて食事をとることを心がけてほしい。糖質を最後にするとか、蜂蜜で砂糖を代用するなどのアイデアもある。

(2)小麦は吸収を妨げる壁にもなりえる。内臓に負担がかかっているので、集中的に小麦ばかり取るのも体調に影響がある。食生活を変えてみることで身体のパフォーマンスが変化して、メンタルが安定する。セロトニンという成分は90%腸で作られる。おなかを整えることは自分自身を整えることに繋がります。米を一定期間やめてみたが、糖質不足の症状が出た。極端な制限でマイナスの影響が出ることもある。

(3)塩湯を飲む、発酵食品をとることが具体的な行動例です。空腹時間を長めにとる、何事もガチガチにやり過ぎないこともコツです。

【感想】加齢とともに朝の倦怠感や日常のだるさを感じる人が多いです。お話を拝聴して、意識的に身体を整えていく発想で小さなことから取り組んでいこう考えました。身体を整えて健康寿命を延ばしたいです。最後に、お茶までいただいて大変ありがとうございました。

<第7グループ>

- ◆日時 6月16日火 15時30分から
- ◆テーマ ◆報告者 ◆記録者 山口幸子

第2回の勉強会では、北海道芽室町にオープンした「FOOD LABO FORTUNA」の藤田夫妻へのインタビューをYoutube配信しました。元「牛トロ」開発者の夫は、地元の豚肉と岩塩、煙のみを使った究極の無添加ベーコンや生ハムを製造しています。一方の奥様は自身のアレルギー経験から、小麦粉・卵・乳製品不使用の誰もが美味しく食べられる米粉スイーツを手掛けています。夫婦の食への強いこだわりと情熱に迫る内容となりました。しばらくは素材を集めるために中継が多くなる予定です

次回配信は7/13 南製菓 南さんに出演していただきます。



<第8グループ>

◆日時 2026.6.11(木)18:30～

■テーマ:『僕がハマった、日常を面白くするAI活用術』

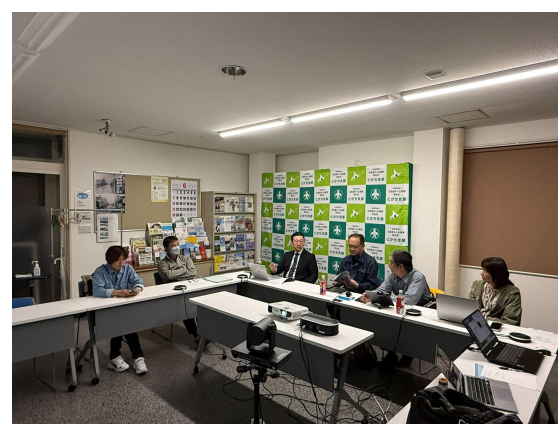
■話題提供者: (有)労災防止センター 取締役社長 佐々木賢一氏

◆報告者 ◆記録者 山口幸子

今年の4月から本格的にAIを使い始め、「まずは楽しみながら試す」という姿勢で、短期間のうちに操作を試行錯誤した佐々木さんは、趣味の音楽やイラスト制作からAI活用をスタートし、会社のテーマソングをAIに作らせたり、マスコットキャラクターをデザインしたりと、楽しみながらも、AIが指示を誤解し、おかしいものを出した時も、修正していく過程などを楽しく見せてくれました。特に効果的な使い方として、AI側に「必要な情報を質問させる」という方法を挙げていました。これにより、AIが求める情報を的確に与えることができ、質の高い成果物を効率的に生み出せるそう。

現在では、これらの経験を活かして業務資料の作成など実務にも応用しています。佐々木さんのお話しは、『AIを使いこなすには、まず楽しみながら対話を重ねることが大切』とご自身のこの数か月の経験を話してくれました

次回は、7月9日(木)18:30～です



<第9グループ>

◆日時 2026年6月15日(月)19:00～

◆テーマ 「緊急情報交換！～中東情勢による商品資材不足の現状～

◆報告者 全員

◆記録者 近藤 真治

- ・中東情勢による石油関連商品の不足がどの程度の影響が出ているか、業種問わずで情報交換を行った。
- ・十勝管内でも建設関連企業は全ての業種で資材不足、価格高騰が進み、工事期間の延長、計画変更や中止等も顕著になってきている。
- ・価格高騰で再見積もり案件も増加中で、当面は価格上昇分の利益が確保できないとの意見もあった。
- ・建設関連企業だけではなく、ナフサ由来の製品で包装資材等を使用している企業では、代替え商品の調達や価格変更が相次いでいる。
- ・自動車関連ではエンジンオイルが品薄で個人では手に入りにくくなっている。



・不動産関連では賃貸物件において、退出後の内部修繕が遅れたり、修繕費の高騰が出始めている。

・どの業界にも様々な形で影響が出始めている、最終的には価格高騰に繋がり、企業の利益を逼迫し始めている。その結果、エンドユーザーにも価格高騰や品薄等の影響が出始めている、市場経済の低迷に繋がってくるとの見解に達した。